

学習のすすめかた（第2学年 国語）

☆国語の学習で“めざす”こと☆

- いろいろな国語作品（小説・随筆・説明文・詩・短歌・俳句・古典）や漢字・文法の学習を通して、国語への関心を高め、自分の国語に対する感性を豊かにし、ものの見方・考え方を深め、の基礎学力を伸ばし育てよう。
- いろいろな題材を通して、自分の思いや考えを確かなものにし、人に伝え合う力を高めよう。
- いろいろな題材をもとに、目的に応じて筋道を立て、文章を書いたりまとめたりする力を養おう。
- いろいろな題材を通して、その作品の意図する内容を的確に読みとり、しっかり把握する力を養おう。
- 社会生活に必要な国語の知識や技能を学び、言葉を適切に使えるようになるよう。
- 漢字を正確に書ける力を養おう。

☆学習を進めるにあたって☆

使用教材	教科書 国語（光村図書） 副教材 よくわかる国語の学習 2（明治図書） 学習漢字ノート 2（浜島書店） 新文法ノート（浜島書店） 国語便覧（浜島書店）	持ち物	（左記以外に） ノート・ファイル 国語辞典（必要な時） iPad
学習の進め方	《確かな学力を身につけるには》 ○作品（教材）理解のために、しっかり内容を考えて読み取ろう。 ○授業では、仲間や先生の話をしっかり聞き取り、自分の考えを広げ深めていこう。 ○課題への自分の思いや考えを明確にした上で発表し、仲間に思いを伝えよう。 ○学習課題をしっかり持ち、課題に対して前向きに取り組もう。 ○疑問に思ったことや、わからなかったことを解決する努力をしよう。 ○学習課題に対して多面的に観たり考えたりする力をつけよう。 ○何事もじっくり考え、発想が広げられるようにしよう。 ○自分の良いところを伸ばし、苦手なところにも挑戦しよう。 ○課題を解決できたことに自信を持ち、その後の国語学習につなげよう。 ○語句・文法・文学史等、国語の知識の定着に向けての努力をしよう。 ○ロイロノートやeライブラリを効果的に活用しよう。 《家庭学習》 ○予習・復習をしっかりしよう。 ○宿題・提出物にしっかり取り組もう。 ○漢字ノートはこつこつと取り組もう。 《定期テスト》 ○範囲はテスト発表時に通知します。 ○教科書・ノート・ワーク・資料集等をもとに、授業中に学習した内容や事柄をしっかり復習しておこう。 ○教科書・ノート・ワーク・資料集等をもとに、国語の知識を定着させておこう。		
学習上の注意等	○チャイムが鳴るまでに授業の準備を終え着席し、授業に備えよう。 ○授業の準備物を忘れないようにしよう。 ○板書されたこと・気づいたことなどノートに工夫してまとめよう。 ○宿題などの提出は、提出期限を守ろう。 ○先生や友だちの話や発表がしっかり聞けるようにしよう。 ○ノートまとめなど個人の活動が早くできて時間に余裕ができたときは、ワークの学習に取り組む、学習内容の定着を心がけよう。また、できることをやり終えたときは、読書・資料集・語句学習・予習・復習等から各自が課題を選択し、自学自習を進めよう。		

☆学習内容および評価について☆

学習計画							
学期	月	単 元 計 画	試験	評 価 観 点	評価の場面・方法		
前期	4	・見えないだけ ・アイスプラネット	中間 知識・技能	○正しく漢字が書けている。	・行動観察 (授業態度・発表) ・ノート ・定期テスト ・ワークシート ・小テスト ・聞き取りテスト		
	5	・枕草子		○知識や理解を問う問題を解けている。			
	6	・情報を整理して伝えよう ・クマゼミ増加の原因を探る ・魅力的な提案をしよう ・メディアの特徴を生かして情報を集めよう		○社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。			
	7	・デジタル市民として生きる ・短歌に親しむ ・短歌を味わう ・言葉の力 ・語彙を豊かに ・星の王子さま ・ヒューマノイド					
後期	9	・字のない葉書 ・表現を工夫して書こう	期末 思考・判断・表現	○自分の立場や伝えたい事実や事柄を明確に示している。 ○自分の意見が相手に伝わるように、筋道を立てて書けている。 ○書いてある内容を読み、正確に理解できている。 ○広い範囲から話題を求め話したり聞いたりして、自分の見方や考え方を深められている。 ○相手の立場や考えを尊重し、話したり聞いたりできるか。	・行動観察 (授業態度・発表) ・ノート (自分の考え・意見) ・定期テスト ・ワークシート ・作文、聞き取りテスト ・振り返りの内容		
	10	・モアイは語る ・適切な根拠を選んで書こう	中間	○意欲をもって授業に取り組み、粘り強く学習する態度が見られる。		・行動観察 (授業態度・発表)	
	11	・月夜の浜辺 ・平家物語 ・扇の的 ・仁和寺にある法師 ・漢詩の風景 ・君は「最後の晩餐」を知っているか					
	12	・立場を尊重して話し合おう ・「自分らしさ」を認め合う社会へ ・書写 ・走れメロス					
	1	・描写を工夫して書こう					期末 主体的に学習に取り組む態度
	2	・国語の学びを振り返ろう					
	3	・鍵					
	*言葉・漢字・文法・書写等は随時						

「地理・歴史に興味をもち、自ら学び、考える力を身につけよう」（第2学年 社会）

☆社会の学習で“めざす”こと☆

◎社会的事象に興味・関心をもち、自ら課題を発見し、課題を解決しようとする力をつけよう！！

「なぜ？」の思考から課題は生まれる。「どうやったら解決できるのか？」を考え、粘り強く取り組むことが大切。

達成したという満足感が生まれる→自信につながる→もっとがんばってみようという気持ちが生まれる
日頃からテレビ等のニュースを見たり新聞を読んだりして、世の中の出来事について、関心をもとう。

◎さまざまな資料を多角的に分析・考察し、発表したり文章でまとめたりする力をつけよう！！

（例）国境線の形状やなぜ東京に人口が集中しているかなどについて、資料をもとに考えることができる。

（例）歴史上の人物の功績やそれぞれの時代の文化の特徴について、資料集等を活用して調べることができる。

◎課題の追求に必要な資料を効果的に活用し、それを的確に読み取り、まとめたり発表したりする力をつけよう！！

（例）身近な地域の地形的な特徴や気候の特徴について、地図や雨温図から読みとることができる。

（例）歴史事象の特徴やその時代背景について、書籍やインターネットを利用してまとめることができる。

◎社会的事象について理解を深め、知識を身につけよう！！

事象の名前だけでなく、意味・内容を理解する。さらに、説明できる力をつけること。

☆学習を進めるにあたって☆

使用教材	○教科書 「中学生の地理」（帝国書院） 地図帳 「中学校社会科地図」（帝国書院） ワーク 「地理の学習2」（浜島書店） ○教科書 「新しい社会 歴史」（東京書籍） ワーク 「歴史の学習2・3」（浜島書店）	もちもの	・教科書（共通） ・地図帳（地理） ・ワーク（共通）
学習の進めかた	《確かな学力を身につけるには》 ○授業前には、今日何を学習するのかを確認し、目的意識をもって臨もう。 ○授業では私語は慎み、よく話を聞くこと。また、聞くだけでなく、自分で学ぶ意志を持ち、意欲的に学習に取り組もう。 ○学んだことを忘れないうちに、復習する習慣をつけよう。 ○疑問に思ったことや分からなかったことを追究して、その事柄を解決しよう。さらに、自ら考えていく力が大切です。 ○学習課題に対して、多角的（一つの事柄について色々な面からとらえること）に観たり考えたりする力をつけよう。 ○分からないはそのままにせず、どんどん質問しよう。 《家庭学習》 ○予習・復習に取り組み、確実に自分の力にしていこう。 ○宿題・提出物に丁寧に取り組もう。取り組み方が、必ず結果に表れます。 《定期テスト》 ○範囲は、テスト発表時に通知します。 ○しっかりとしたテスト計画を立て、着実に実行していくことが大切です。		
学習上の注意	○意欲的に授業に参加するとともに、聞く態度や姿勢にも気を付けること。 ○板書されたことは、確実にプリント等に記入する。その他、気付いたことや大切だと思うこと、自分で調べたことなど、自分で工夫して分かりやすくまとめていくこと。 ○チャイムが鳴るまでに授業の準備を終え、着席していること。 ○ノート・ワークなどの提出物は、期限を必ず守ること。 ○タブレット端末を使って授業を進めます。必ず充電しておきましょう。		

☆学習内容および評価について☆

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て		
学期	月	単 元 計 画	試験	評 価 観 点		評価の場面・方法
前期	4	【地理的分野】 ＜第3部＞	中間	知識・技能	○資料活用の方法を身につけることができたか。	・定期テスト
	5	第1章 身近な地域の調査			○さまざまな統計・歴史資料などを読みとることができたか。	・小テスト
	6	第2章 日本の地域的特色 ○日本の地形、気候、自然災害と備え、人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信網など			○資料を活用した問題を解くことができたか。	・発表
	7	第3章 日本の諸地域 ○各地方の自然と産業、人々の生活	期末	思考・判断・表現	○知識・理解を問う問題を解くことができたか。	・グループ学習
	8	九州地方、中国・四国地方、近畿地方、中部地方、関東地方、				・振り返り
	9	東北地方、北海道地方				・提出物 (レポート等)
	10	【歴史的分野】 第4章 近世の日本	中間	主体的に学習に取り組む態度	○課題に対し資料に基づいて多面的に考察し、分かりやすく伝えることができたか。	・定期テスト
	11	第2節 江戸幕府の成立と対外政策 ○成立と支配の仕組み、さまざまな身分と暮らし、貿易の振興から鎖国および対外政策			○課題を追求する方法を工夫して考えられたか。	・小テスト
	12	第3節 産業の発達と幕府政治の動き ○農業や諸産業・交通路の整備、幕府政治と改革、元禄文化と化政文化、新しい学問、外国船の出現			○学習を通して、自らの生活や社会に照らし合わせて考えることができたか。	・発表
後期	1	第5章 開国と近代日本の歩み 第1節 欧米における近代化の進展 ○イギリス・アメリカ・フランスの革命、ヨーロッパにおける国民意識の高まり、産業革命と資本主義		主体的に学習に取り組む態度	○思考・判断力を問う問題を解くことができたか。	・グループ学習
	2	第2節 欧米の進出と日本の改革 ○欧米のアジア侵略、開国と江戸幕府の滅亡				・振り返り
	3	第3節 明治維新 ○新政府の成立と政治改革、対外政策、自由民権運動の高まり				・提出物 (レポート・学習の記録等)
	4	第4節 日清・日露戦争と近代産業 ○欧米列強の侵略と条約改正、日清・日露戦争、韓国と中国、日本の産業革命、近代文化の形成	期末	主体的に学習に取り組む態度	○課題に対し積極的に解決しようという姿勢で臨めたか。	・定期テスト
	5				○学習を通じて新たな課題を持つことができたか。	・小テスト
	6				○学習した内容の到達・未到達点についての具体的な分析ができたか。	・発表
	7				○未到達な内容について、どれだけ努力できたか。	・グループ学習
	8					・振り返り
	9					・提出物 (レポート・学習の記録等)

きみの数理的な知性を開発しよう（第2学年 数学）

☆数学の学習で “めざす” こと☆

◎数学を身につけること

「基礎・基本」を習得し、「創造性」を養おう。

基礎的・基本的な知識・手法

式の計算ができる

数量の関係や法則を見つける



多面的にものを見る力や論理的に考える力(創造力)

なぜそうなるのかな？（不思議・疑問）

問題の鍵は何だろう？（解決のキポイント）

数学好きになるために欲しい3つの気持ち

正確さ

正確にものごとを知りたい

気楽さ

楽にしかも早くしたい

的確さ

わかりやすく伝えたい

◎数学を役立てること

数学の「よさ」や「はたらき」を感じよう

「役立つから学ぶ」から「どのように役立て得るかを問いながら学ぶ」へ

身につけた数学を
活かすと



どんな身の回りの
ことを



どのように見たり考えたり
できるか

☆学習を進めるにあたって☆

使用教材	教科書 未来へひろがる数学2年（啓林館） 副教材 数学の問題ノート（新学社） 自作プリント	もちもの	教科書・ワーク・ノート ファイル・タブレット 直定規
学習の進めかた	《確かな学力を身につけるには》 ○計算力をつけよう。計算力は数学の基礎、繰り返し計算問題を解けば必ず向上します。 ○法則や公式は使うことで身につけよう。暗記するだけでは身についたとは言えません。 ○間違いを次につなげよう。どこでなぜ間違えたのかを自分で見つけることが大切です。 ○文章題・図形・グラフなどの問題では、時間がかかっても習ったことを振り返り考えることをしよう。そのような努力があって初めて「解説」が理解できます。 ○問題が解けたときの達成感や充実感を感じよう。 《家庭学習》 ○授業終了時に、ワークのできる箇所を伝えるので確認と復習をしておこう。 ○宿題は、必ずしよう。授業時に点検します。 《定期テスト》 ○範囲は、テスト発表時に通知します。 ○日頃からしっかり復習し、テスト前は間違えた問題や応用問題を中心に学習しよう。 《小テスト》 ○観点別で小テストを行います。授業の復習を行い、学びを定着させましょう。		
学習上の注意等	○「話を聞く」、「板書を写す」、「問題を考える」の切り替えをしっかりとしよう。 ○ノートをとるときは、スペースに余裕を持って見やすく書こう。話を聞いていて板書されていなくても大事だと思ったことは、自分で書き加えたり線を引いたり工夫しよう。 ○答えだけを書くのではなく、答えに至るまでの式や計算や考え方を書くようにしよう。 ○ワーク・ノート・レポートの提出は、期限を守ろう。 ○指示された問題が早くできたら、ワークや章末問題を進んでやろう。		

☆学習内容および評価について☆

学期	月	単元計画	試験	評価について		
前期	4	式の計算	中間	評価観点		評価の場面
	5	・式の加法・減法 ・いろいろな多項式の計算 ・単項式の乗法・除法 ・文字式の利用		知識・技能	○問題を解決する手段を理解し、解決することができるか ○表やグラフの特徴・用語・記号・図形の性質について説明することができるか ○表やグラフをかいたり、読み取ることができるか ○基本的な作図や操作はできるか	発表内容 小テスト 定期テスト 演習問題
	6	連立方程式 ・連立方程式とその解 ・連立方程式の解き方 (加減法・代入法)				
	7	・連立方程式の利用 一次関数 ・一次関数の値の変化				
9	・一次関数のグラフ ・一次関数の式を求めること ・一次関数と方程式	期末	思考・判断・表現	○事象を数学的に捉え、なぜそうなるのかを理論的に考えることができるか ○考察したことを筋道立てて説明することができるか ○いくつかの事象から、規則性・法則性を見つけだすことができるか	授業への取組 話し合い活動 発表内容 ワークシート 振り返る活動 定期テスト 演習問題	
後期	10	・一次関数の利用 図形の調べ方	中間	主体的に学習に取り組む態度	○意欲を持って、学習に取り組むことができるか ○既習事項を用いて、課題解決につなげようとしているか ○学んだことを生活や学習にいかすことができるか	授業への取組 発表内容 振り返る活動 提出物
	11	・角と平行線 ・多角形の角				
	12	・三角形の合同 ・図形の性質の利用 ・証明とそのしくみ ・証明の進め方 図形の性質と証明				
	1	・二等辺三角形 ・直角三角形の合同 ・平行四辺形の性質				
	2	・平行四辺形になるための条件 ・いろいろな四角形 ・平行線と面積 ・図形の性質を利用した証明	期末			
	3	場合の数と確率 ・確率の求め方 ・いろいろな確率 ・確率の利用 箱ひげ図とデータの活用 ・箱ひげ図 ・データを活用して問題を解決しよう 2年生の復習				

「実験・観察」を通して、科学的な考え方を養おう(第2学年 理科)

☆理科の学習で“めざす”こと☆

- ◎ 自然界で起こっていることに対する関心を高めよう。
 - ・身のまわりで起こっている自然現象について、疑問に思ったことや不思議に思ったことを自ら科学的に調べたり、考えたりする態度を養おう。
 - ・実験や観察に積極的に取り組もう。
 - ・自分の生活が自然環境にどのような影響を与えているかを考え、環境を保護し、人間と自然が調和して生き続ける方法を多くの視点から考えられる力を身につけよう。
 - ・理科の学習で学んだことを「自然」に関係する身の回りのできごとと結びつけて考え、自然現象が起こる理由を説明できる力を身につけよう。
- ◎ 科学的な見かたや考え方を養おう。
 - ・実験や観察の結果を論理的、実証的、客観的に考察し、課題を解決しよう。
 - ・実験結果から、自らの考えを導き出し、規則性を発見しよう。
 - ・自然現象が起こる要因や仕組みを分析的、総合的に考えよう。
- ◎ 目的意識を持って、観察・実験などに取り組み、科学的に調べる力を身につけよう。
 - ・観察・実験の基本操作を身につけよう。
 - ・実験をしてわかったことは何か、自分の言葉でしっかり書けるようになるよう。
 - ・実験結果からどのようなことが考えられるか、事実に基づいて考え、文章で表現しよう。
- ◎ 自然の事物・現象についての理解を深め、知識を身につけよう。
 - ・基礎、基本の内容をしっかり理解し、知識を身につけ、定着させていこう。

☆学習を進めるにあたって☆

使用教材	教科書 未来へひろがるサイエンス2 (啓林館) 副教材 理科便覧(資料集) (浜島書店) 理科ノート (新学社) 理科の学習 (明治図書)	持ちもの	教科書 資料集 ノート ファイル
学習の進めかた	《確かな学力を身につけるには》 ○ 学習課題をしっかりとりえ、授業や実験に取り組もう。 ○ わからないところを明確にして、必ず克服しよう。(先生に質問・友だちに聞く・調べる) ○ ノートやレポートは、自分の考えや実験結果などを丁寧にわかりやすく、自分の言葉で書こう。 ○ 自主勉強を通して、家庭学習は毎日こつこつやっいていこう。 ○ 授業や実験には、集中して、積極的に取り組もう。 《家庭学習において》 ○ 授業後(できるだけその日のうちに)教科書、ノートを中心に復習しよう。 ○ ワークなどを利用して問題を解く練習をしながら、曖昧だった部分の自分の理解を明確にし、確実に知識を身につけていこう。また、特に苦手な分野に力を入れよう。 《定期テストに備えて》 ○ 中間テスト・期末テストのテスト範囲は、テスト発表時に通知します。 ○ 日頃からしっかり復習し、問題練習を中心に学習が進められるようにしよう。 ○ できなかった問題や難しい問題に再チャレンジし、重要な語句をしっかり覚えよう。		
学習上の注意	○ チャイム着席を守り、気持ちを切りかえて、集中して授業にのぞもう。 ○ 板書されたことや、気づいたことなどを自分なりに工夫して、見やすくわかりやすく ノートにまとめておくようにしよう。 ○ 実験・観察においては、目的と方法を理解し、集中して取り組み、事故によるケガをしないように、十分注意しよう。 ○ ノート・ワークなど、提出物の期限は必ず守ろう。		

☆学習内容および評価について☆

学習計画				評価にあたって	
学期	月	単元計画	試験	評価観点	評価の場面・方法
前期	4	オリエンテーション		知識・技能	① 問題を解くことで実験・観察の基本操作ができていますか。 ② 実験・観察レポートを工夫して書くことができたか。 ③ 作図や基本操作を問う問題を解くことができたか。 ④ ノートを工夫してまとめることができたか。 行動観察 (授業態度・発表・実験) 実験・観察レポートの考察 ノート 定期試験 練習問題プリント
		物質の成り立ち			
		物質の表し方			
	5	さまざまな化学変化			
		化学変化と物質の質量			
	6	力だめし	中間		
		生物の体をつくるもの			
		植物の体のつくりとはたらき			
	7	動物の体のつくりとはたらき			
後期				思考・判断・表現	① 論理的な思考ができていますか。 (課題に対する予想結果に基づいた考察) ② 思考・判断・表現力を問う問題を解くことができたか。 行動観察 (授業態度・発表・実験) 実験・観察レポートの考察 レポート 定期試験 練習問題プリント
	9	力だめし	期末		
		地球を取り巻く大気の様子			
		動物の行動のしくみ			
				主体的に学習に取り組む態度	① 意欲をもって授業に取り組むことができたか。 ② 自然に対する自己の経験を振り返ったり、自分の考えや意見を明確にしたり、新たな課題を持つとすることができたか。 ③ 未到達の部分を粘り強くどれだけ克服しようとしたか。 行動観察 (授業態度・発表・実験) ワークやノート等の提出物 各種レポートにおける感想 振り返る活動
	10				
		空気中の水の変化			
		天気の変化と大気の動き			
	11	大気の動きと日本の四季	中間		
		力だめし			
	12	電流の性質			
	1	電流の正体			
	2	電流と磁界			
		力だめし	期末		
	3	総合演習			

ミュージシャンへの道（第2学年音楽科）

☆音楽の学習で“めざす”こと

- ◎ 音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって、生活を明るく豊かなものにしよう。
曲想に適した音色や奏法に関心をもとう
意欲的に器楽合奏に取り組もう
- ◎ 音楽のもつ曲想や美しさを感じ取る能力を高め、それらを生かした表現や鑑賞の工夫をしよう。
音楽・リズム・旋律・和音を含む音と音との関わり合い、形式などを感じ取り、
豊かな表現を工夫しよう
- ◎ 歌唱やリコーダー演奏、創作を通して、表現する能力を高めよう。
読譜力などの基本的な技術をより高め、合奏の技能を身につけて、音楽表現をしよう
小アンサンブルによる合奏の技能を身につけよう
創作において自分のイメージする曲を作ろう

☆学習を進めるにあたって

使用教材	教科書 中学生の音楽2,3上（教育芸術社） 中学生の器楽（教育芸術社）	持ち物	中学生の音楽2,3上 中学生の器楽 アルトリコーダー ファイル
学習の進めかた	《確かな学力を身につけるには》 ○ 学習課題をしっかりととらえ、心とからだで表現しよう。 ○ わからないところを明確にして、必ず克服しよう。 ○ じっくり取り組み、精一杯の努力・工夫をしよう。 ○ 良いところは伸ばし、苦手とすることに挑戦しよう。 ○ 努力したのち、自分の成長したことに自信を持とう。 ○ 歌唱や演奏の喜びを感じ取ることができればすばらしい！ ○ 聴く力を身につけて、自分のスキルを増やそう。 《家庭学習において》 ○ リコーダーや歌唱は、家で復習をして歌詞や旋律をおぼえよう。 《実技テストや定期テストに備えて》 ○ 歌唱やリコーダーの実技テストは、日々の努力の積み重ねを発揮しよう。 ○ テスト範囲の重要語句を復習しよう。		
学習上の注意	○ チャイム前に着席する。 ○ 楽譜に階名を書くときは、できる限り自分で努力する。 ○ 階名唱をする時は、特にリズムに気をつける。 ○ 実技テストの時は、課題をしっかりと意識する。 ○ 歌唱は大きく、響きのある声を出す。 ○ パート練習では、周りの音をしっかりと聴きながら歌唱する。 ○ 筆記・実技テストの振り返りは客観的な視野に立って書く。		

☆学習内容および評価について

学 習 計 画				評価にあたって		
学期	月	単 元 計 画	週	評 価 観 点		評価の場面・方法
前 期	4	校歌(歌) 明日を向いて(歌) My Voice!(歌) LESSON4(器)	定期	主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	○主体的に・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	授業観察 (発言や役割等) 準備物 提出物 定期テスト 振り返りカード
	5	道を歩けば(歌・器) 翼をください(歌) フーガ短調(鑑)			○粘り強く学習に取り組むことができる。	
	6	夏の思い出(歌) 荒城の月(歌) 交響曲第5番ハ短調(鑑)			○自分の学習状況を把握し、学習の進め方について考え、自らの学習を調整し改善することができる。	
	7	サンタルチア(歌) ふるさと(器)		思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	○旋律、強弱、速度及び歌詞の内容と旋律と速度との関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい表現としてどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	授業観察 (創意工夫) 表現活動 ワークシート 実技テスト 定期テスト
	9	My Melody(創) 夏の日の贈りもの(歌) やさしさに包まれたなら(歌)				
後 期	10	「アイダ」から(鑑) やさしさに包まれたなら(歌)	定期	知 識 ・ 技 能	○曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。	授業観察 (基礎的な力) ワークシート 実技テスト 定期テスト
	11	歌舞伎「勧進帳」(鑑) 文楽(鑑)			○音楽の特徴とその背景となる文化や歴史について理解している。	
	12	Let's Create!(創) 世界の諸民族の音楽(鑑)			○創意工夫を生かした表現で歌うための必要な発声、言葉の発音、体の使い方など基礎的な技能を身につけている。	
	1	旅立ちの日に(歌) 受け継ごう! 郷土の祭りや芸能(鑑) 太鼓を打ってみよう(器)				
	2	旅立ちの日に(歌) 世界の諸民族の音楽(鑑)				
	3	音楽の学びを振り返ろう				

2025年度 勢和中学校 第2学年 美術科 シラバス

【 中学3年間でつきたい力 】

- 美術活動を通じて、自分の内面への関心を深化させる。
- 美術表現の基本的な技術を身に付け、創造性を養う。
- 日本の美術に対して、興味を持ち、鑑賞する力を育てる。

【 評価の観点、評価基準、評価場面 】

知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表すことができる。	○作品（完成度を含む出来） ○ワークシート ○定期テスト ○授業の様子
現 思考力・判断力・表現力	自然の造形や美術作品などの造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・創造的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	○作品（工夫やオリジナリティが表現できているか） ○ワークシート ○アイデアスケッチ ○定期テスト ○授業の様子
主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を想像していく態度を養う。	○提出物（期日が守られているか） ○ふりかえりの内容 ○授業態度（忘れ物や取り組む姿勢）

【 学習を進めるにあたって 】

使用教材	教科書 美術2・3上（日本文教出版）・資料集・ファイル
持ち物	教科書・資料集・ファイル・iPad・絵の具セット（必要な時）
学習方法	《学校では》 ・授業に意欲的・積極的に取り組みましょう。 ・見通しをもって制作活動に励み、作品を完成させましょう。 ・提出期日を守りましょう。 ・根気よく制作に集中しましょう。 ・私語を慎み、作品に手数を投入する時間を優先しましょう。 《家庭では》 ・週に1度の授業のため、課題をわからないままにせず復習しましょう。 ・作品制作に生かせそうな、資料やアイデアを見つけたらストックしておきましょう。 ・日頃から感性を磨き、深く洞察できる力を磨いておきましょう。 《定期テストでは》 ・授業内容、ワークシート、スライドなどの確認をしましょう。 ・作品名と作者名については、学校で使う教科書・資料集に記載の名称を正解とするのでしっかり覚えましょう。 ・実技問題がある場合は、予告をするので練習しておきましょう。

【 学習内容および評価について 】

学 習 計 画		評 価 に あ た っ て
期 月	単元・教材名	評 価 基 準
前	4 オリエンテーション ・授業を受けるにあたっての心構えについて 表現：鑑賞 P20～ 「イメージを形にすると」	知・技 形や色彩、その組み合わせに着目してイメージをとらえ、絵の具などの材料を生かして表すことができる 思・判・表 感覚や感情のイメージをもとに、形や色彩、構成などの効果を考え、構
	5 ・モダンテクニックを使って作品制作	想を練ったり鑑賞したりすることができる 主 感じたことや感情などを形や色彩で表すことに関心を持ち、意欲的に取り組むことができる
	6 鑑賞 P14～ 「自由な視点で見つめる」	知・技 見上げる、見下ろす、近づくなど、視点の変化に着目し、見え方の印象の違いをとらえることができる 思・判・表 視点の違いや構図の工夫によるイメージの変化をもとに、構図などの効果を考え、鑑賞することができる 主 視点の違いによるイメージの変化を生かすことに関心を持ち意欲的に鑑賞できる
期	7 表現：鑑賞 P16, 17, 64 「写真表現の魅力」	知・技 写す角度や配置、拡大や縮小、光や陰影、時間の製紙などに着目し、印象などをとらえ、カメラの特性を生かして表すことができる 思・判・表 被写体の印象や瞬間の美しさなどをもとに、構図やシャッター速度の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる 主 写真表現の特性を生かして表すことに関心を持ち、意欲的に取り組むことができる
	「夏休み自由課題（希望者のみ）」 ポスター制作	
	9 鑑賞 P30～ 「日本文化との出会い」 前期期末テスト	知・技 構図や色彩、線などに着目し、日本美術の作風や印象がどのように生かされているかをとらえることができる 思・判・表 ジャポニズムの表現の特性や美しさ、作者の意図と創造的な工夫、美術を通した国際理解、美術文化の継承と創造について考えることができる 主 ジャポニズムの表現の特色や美しさ、時代背景などに関心を持ち、意欲的に鑑賞に取り組むことができる

後 期	10	表現:鑑賞 P32～ 「日本の技と心を受け継いで」 樹脂粘土で和菓子制作	知・技 形や色彩、材料、技法などに着目し、自然や季節、地域素材を生かした技や美しさをとらえ、材料や用具の特性を生かし見通しをもって表現することができる 思・判・表 自然や季節感を取り入れたよさや美意識、技の素晴らしさなどについて考え、構想を練ったり、材料の特性を生かして工夫した表現をしたり、鑑賞をしたりできる 主 伝統工芸のよさや美しさ、技の素晴らしさや携わる人の思い、季節感を表すことに関心を持ち意欲的に取り組むことができる
	11	鑑賞 P24～ 「浮世絵っておもしろい」	知・技 構図や色彩、線、彫りや摺りの特徴に着目し、浮世絵の作風や作品の印象などをとらえることができる 思・判・表 構図や色彩、線、彫りや摺りの技法に着目し、作風や作品の印象などをとらえることができる 主 浮世絵の表現のよさや特性などに関心を持ち、意欲的に鑑賞に取り組むことができる
	12	表現:鑑賞 P54～ 「遠近感を表す」 ・遠近法の種類 ・透視図法の習得	知・技 遠近法の作図法の違いを理解し、表現できる 思・判・表 作品の構成や意図を主体的に追求し、自己の作品に柔軟に取り入れることができる 主 興味、関心をもって透視図法やその他の図法を習得し、よりよい空間表現を目指して進んで制作しようとすることができる
		後期期末テスト	
	2	表現:鑑賞 P36～ 「思いが飛び出すカード」	知・技 紙の性質、形や色彩の構成に着目し、飛び出す仕組みを工夫し表すことができる 思・判・表 伝えたい内容、伝える相手や場面をもとに、形や色彩、飛び出す効果を考えて構想を練ったり、鑑賞したりできる 主 飛び出す仕組みを生かしたカードの制作に関心を持ち、意欲的に取り組むことができる
	3	1年間のふりかえり	

学習のすすめかた（第2学年 保健体育）

☆保健体育の学習で“めざす”こと☆

保健体育の学習は保健分野と体育分野に大きく分けられます。保健分野では心身の発育・発達や健康と環境、健康な生活と傷害や病気の予防などについて学習します。体育分野では、いろいろな運動を体験し、それぞれの運動に必要な技能を身につけ、さまざまな知識を学びながら、健全な心身をつくることを目指していきます。そして、これからの生涯を健康的に生きていくために以下の3つの観点を大切にしながら、授業を進めていきたいと思います。

- ◎運動を楽しむために必要な知識や技能を身につけるようにすること、また、健康・安全に関する理解を深めるとともに、さまざまな場面において活用できるようにしよう。
- ◎自他の課題を発見し、解決していくための方法を考えたり、工夫したりするなど、運動や健康・安全に関する思考力、判断力、表現力を身につけよう。
- ◎運動や健康・安全に対する関心を高め、主体的に関わり実践していこうとする態度を身につけよう。

☆学習を進めるにあたって☆

使用教材	教科書 新中学保健体育（学研） 副教材 中学体育実技（学研） 3年間の保健資料ノート（新学社）	もの	（体育）ipad （保健）教科書、ipad
学習の進めかた	《確かな学力を身につけるには》 ○自分やグループの目標や課題を持って授業に取り組もう。 ○個人の記録や課題、学習課題に対する振り返りをカードに記録していこう。 ○どんな課題に対しても挑戦する気持ちを大切にして積極的に取り組もう。 ○試合のルールや方法について理解し、主体的に取り組もう。 ○体力や技能の向上に向けての課題や解決策を考えながら、練習やゲームに取り組もう。 ○学習したことや重要なポイントを自分なりに工夫してワークシートにまとめよう。 《家庭学習》 ○中学体育実技や保健資料ノート、授業で配布したプリントを活用して学習しよう。 ○いろいろな運動やスポーツ、健康・安全に関する事象に興味・関心を持ち、メディアのニュースなどにも目を向けよう。 《定期テスト》 ○運動やスポーツのルールや技術習得のポイント、健康・安全に関する知識について、教科書、体育実技、保健資料ノートを活用して復習しておこう。 ○授業で使用したワークシートや単元のまとめのプリントを復習しておこう。		
学習上の注意等	○授業開始時、終了時のあいさつは、きちんとした態度と姿勢で行おう。 ○<u>チャイム</u>とともにラジオ体操とレクアップを行おう。種目に応じて、各自でストレッチをしよう。 ○授業の規律やルールをしっかりと守るとともに、自他の健康・安全に十分留意して活動しよう。 ○授業で使用する用具やコート of 準備・片づけは全員で協力して行おう。 ○先生の説明をしっかりと聞き、授業の流れやポイントを把握しよう。 ○ケガや体調不良で見学するときは、できる範囲で授業に参加しよう。		

☆学習内容および評価について☆

学 習 計 画				評価にあたって				
期	月	単 元 計 画	試験	評価観点		評価の場面・方法		
前期	4	体づくり運動・体力テスト	期末	知識・技能	○各運動に必要な技術を身につけることができたか。	行動観察		
	5	体育理論			○身につけた技術を試合や発表の場で発揮できたか。	実技テスト		
		陸上競技（短距離走・リレー）			○個人やチームで設定した目標や記録を達成できたか。	記録会		
	6	器械運動			○運動や健康・安全に関する知識を習得できたか。	発表会		
						定期テスト		
	7	保健学習		思考・判断・表現	○学習課題についての振り返りがしっかりできているか。	振り返りシート		
	8	球技（ベースボール型）			○個人やチームで適切な課題や目標を持って取り組み、練習やゲーム等の場で実践することができたか。	行動観察		
	9				○個人やチームで作戦を立てたり、課題解決に向けて工夫したりして取り組むことができたか。	定期テスト		
後期	10	球技（ゴール型）	期末		○健康・安全への配慮を主体的に行うことができたか。	単元のまとめ		
	11	球技（ネット型）			○体力や技能の向上について、また、健康・安全に関する知識を正しく捉えて考えたり、表現したりすることができたか。			
	12	陸上競技（持久走） 保健（傷害の防止）		主体的に学びに向かう態度	○運動や健康・安全について興味、関心を持ち、主体的な態度で取り組みことができたか。	行動観察		
	1	ダンス			○授業のルールや規律を守り、自他の健康・安全に留意して取り組むことができたか。	ワークシート		
	2	球技（ネット型）			○準備や片づけに積極的に取り組むことができたか。	テスト反省		
	3	球技（ゴール型）			○仲間と協力したり、教え合ったりしながら、課題に取り組むことができたか。	単元のまとめ		

「技術」に生活の知恵がつまってる！（第2学年 技術）

☆技術の学習で「めざす」こと☆

- ◎ 作品を製作したり、コンピュータを活用したりすることによって、
「ものづくり」や「コンピュータ活用」の基礎的な知識・技術を習得しよう。
生活に必要な基礎的な「技術」について理解を深め、適切に活用する能力を養おう。
生活を工夫し、創造する能力を養おう。

1「材料と加工の技術」

- 生活や産業の中で、「技術」がどんな役割をしているか考えよう。
- 製作するとき、設計（材料のことや機能のことなど）をよく考えよう。
- 製作するとき、工具や機器を安全・適切に使えるようになろう。
- 木材製品を利用した作品が製作できるようになろう。

2「生物育成の技術」

- 生物の育成に適する条件や管理方法を考えよう。
- 社会・環境とのかかわりについて考えよう。

4「情報の技術」

- 情報化が社会や生活に及ぼす影響や、コンピュータの役割を考えよう。
- コンピュータの基本的な機能を知り操作ができるようになろう。
- コンピュータでよく使われる応用ソフトウェアが使えるようになろう。
- 情報通信ネットワークの特徴を知り、利用できるようになろう。
- コンピュータを利用したマルチメディアが活用できるようになろう。

3「エネルギー変換の技術」

- エネルギー変換のしくみを知ろう。
- 機器の安全な利用方法と保守点検ができるようになろう。
- エネルギー変換を利用した作品が製作できるようになろう。

☆学習を進めるにあたって☆

使用教材	教科書 新しい技術・家庭 技術分野 （東京書籍） 副教材 自作プリント 木材加工用板材	もちもの 教科書・副教材・ファイル ファイルには、配付されたプリントや作成したレポート等を保管する。
学習の進めかた	《確かな学力を身につけるには》 ○まずは、学習課題をしっかりとらえ、頭と体、心をしっかり使いましょう。 ○わからないところやできないところを明確にして、学習・製作しましょう。 ○何事もじっくり考えて、自分にできる精一杯の工夫をしましょう。 ○自分の良いところを伸ばし、苦手とするところにあえて挑戦しましょう。 ○できるようになったこと、自分の成長したことに自信を持ちましょう。 ○作品づくりにおいては、ていねいに製作に取り組みましょう。 《家庭学習》 ○家庭での仕事を手伝うこと。特に夏休み等の長期の休みに、家族の一員としていろいろな家庭での仕事を手伝うこと。 《定期テスト》 ○範囲は、テスト発表時に通知します。 ○授業中に学習したことをしっかり復習しておきましょう。	
学習上の注意	○製作においては、目的と方法を理解・工夫し、ていねいに取り組みましょう。 ○製作においては、ケガをしないように十分注意しましょう。 ○完成したすべての作品をていねいに、大切に扱きましょう。 ○パソコン機器をていねいに扱きましょう。 ○機械や工具類を、安全に大切に扱きましょう。	

☆学習内容および評価について☆

学 習 計 画				評価にあたって		
学期	月	単 元 計 画	試験	評 価 観 点		評価の場面・方法
前 期	4	○オリエンテーション ○ものづくりの変遷 ○材料の性質・特徴について	期末	主体的に学習に取り組む態度	○身近な製作品に興味をもち、技術の発達や人間生活への活用を考えようとしたか。	行動観察 提出作品 提出ファイル 提出プリント 定期テスト
	5	○作品の構想について ・キャビネット図			○身近な製作品に関心をもち、その製作品の材料や構造について考えることができたか。	
	6	・等角図 ・第三角法			○製作に使用する工具や機器を安全に使うことができたか。	
	7				○よりよい社会を築くために、生物育成に関心をもちることができたか。	
	8	《夏休み》				
	9	○木材製品の製作(使用工具機械の学習を含む) ・材料へのけがき ・切断 (のこぎり)		思考・判断・表現	○製作品に、材料の特徴を工夫して生かしているか。	行動観察 提出作品 提出ファイル 提出プリント 定期テスト
					○製作品の使用目的にあわせて、構造を工夫しているか。	
				知識・技能	○製作で、より適切な工具の使い方ができるか。	
					○生物育成に関する技術を評価・活用できたか。	
後 期	10		期末	知識・技能	○加工技術や環境に関する技術の発達と活用に関する知識を身につけているか。	行動観察 提出作品 提出プリント 提出ファイル 定期テスト
	11	・切削 (かんな・やすり) ・穴あけ			○製作品の構造や材料の特徴と利用方法に関する知識を身につけているか。	
	12	○部品検査 ○各部品の調整・修正 《冬休み》			○工具や機器の適切で安全な使用について理解しているか。	
	1	・接合			○生物育成に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解することができたか。	
	2	・表面処理 ○作品の自己評価			○製作品の構想を図で表すことができたか。	
	3	生物育成について			○製作時に、工具や機器を安全に使用できるか。 ○製作時に、点検と修正が正しくできるか。	

生活の全てが『家庭』です（第2学年 家庭分野）

☆家庭の学習で“めざす”こと☆

- ◎作品の制作や調理実習などの体験的な活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識や技術を習得しよう。
- ◎生活に必要な基礎的な「家庭」について理解を深め、適切に活用する能力を養い、生活を想像・工夫する能力を養おう。
- 自ら生活をつくる
 - ・生活の中で果たす食事の役割や健康な体とのかかわりについて考え、日常食の簡単な調理ができるようになろう。
 - ・TPOに応じた衣服の選択ができるようになるとともに、正しい手入れの仕方や簡単な補修の技術を身に着けよう。
 - ・健康で快適な室内環境について考え、持続可能な住生活の実現を目指そう。
- 生活者として意思決定する
 - ・責任ある消費者になるために、様々な販売方法や支払い方法の特徴を知り、自分で正しい意思決定ができるようになろう。
 - ・消費者としてできること(権利や責任)について知り、持続可能な消費生活を目指そう。
- ともに生きる
 - ・私たちの生活と家族家庭の機能や中学生としての家庭での役割を考え、自立した生活を送ろう。
 - ・幼児の心身発達の特徴を理解し、現代の子どもを取り巻く環境について知り、家族としての役割を考えよう。

☆学習を進めるにあたって☆

使用教材	教科書 技術・家庭（家庭分野）（東京書籍）	もちもの	教科書・家庭科ファイル
学習の進めかた	《確かな学力を身につけるには》 ○まずは、学習課題をしっかりとらえ、頭と体と心をしっかり使いましょう。 ○わからないところ、できないところを明確にして、学習・実習をしましょう。 ○何事もじっくり考えて、自分にできる精一杯の工夫をしましょう。 ○自分の良いところを伸ばし、苦手とすることにあえて挑戦しましょう。 ○調理実習においては、安全面に気をつけて取り組みましょう。 《家庭学習》 ○長期の休み中に、実技テストの練習や課題プリントに取り組みましょう。 ○特に長期の休みに、家族の一員としていろいろな家庭の仕事を手伝いましょう。 《定期テスト》 ○範囲は、テスト発表時に通知します。 ○授業中に学習したことをしっかり復習しておきましょう。		
学習上の注意等	○忘れ物がないように注意しましょう。課題提出の期限を守りましょう。 ○調理室や被服室で授業を行う場合は、チャイムが鳴るまでに教室移動をしましょう。 ○実習においては、目的と方法を理解し工夫して、取り組みましょう。 ○実習においては、ケガをしないように十分注意しましょう。 ○班員で仕事を分担し、能率よく協力して作業を行いましょう。		

☆学習内容および評価について☆

学 習 計 画				評価にあたって				
学期	月	単 元 計 画	試験	評 価 観 点	評価の場面・方法			
前 期	4	オリエンテーション 衣服のはたらき TP0に応じた着方 日本の衣文化	期末	知識・技能 ○ 目的に応じた衣服の着用について理解している。 ○ 日本の衣服文化について理解している ○ 衣服の適切な選択について理解している。 ○ 衣服の素材について理解し、正しい手入れが適切にできる。 ○ 小物製作を通して、用具を安全に取り扱うことができる。 ○ 布を用いた小物製作を自分なりに工夫し作り上げている。 ○ 住まいについて家族が健康や安全に配慮した住空間の整え方について理解している。 ○ 家庭内事故の予防対策や自然災害への備えについて理解している。	定期テスト			
	5	衣服の表示 繊維の種類と性質 衣服の手入れ			小物作品評価			
	6	しみ抜き実習 手縫いの基礎			実技テスト（裁縫）			
	7	裁縫 ボタン付け・まつり縫い			住まい方のレポート			
	8	(夏休み)						
	9	実技（裁縫）テスト 小物製作 ・ 本体の製作						
	後 期	10			小物製作 ・ デザイン刺繍	学年末	思考・判断・表現 ○ 衣服の購入選択について、問題を見つけ課題設定・その解決策を構想し、課題解決能力を身につけている。 ○ 日常着の手入れの仕方について問題を見つけ課題設定・その解決策を構想し、課題解決能力を身につけている。 ○ 小物製作について問題を見つけ課題設定・その解決策を構想し、課題解決能力を身につけている。 ○ 住空間に関して、健康・安全について問題を見つけ、課題設定・その解決策を構想し、課題解決能力を身につけている。 ○ 家庭内事故や自然災害について、家族の安全を考慮した住空間の整え方について問題を見つけ、課題設定・その解決策を構想し、課題解決能力を身につけている。	学習プリント提出
		11			和服の文化 和服と洋服の違い			長期休暇の課題プリント
		12			住まいの役割 和式と洋式の住まい			小物製作デザイン
1		間取りの基本 住まい方の工夫	小物作品評価					
2		快適な室内環境 住まいの安全対策	製作時行動観察					
3		持続可能な生活を目指して	住まい方のレポート					
			主体的に取り組む態度 ○ 衣服の購入選択について主体的に取り組んだり、改善・工夫しようとしている。 ○ 日常着の手入れについて主体的に取り組む、工夫している。 ○ 住空間について、家族の安全や健康について、主体的に取り組もうとしている。	活動・製作の様子				
				学習プリント提出状況				

☆英語科の学習でめざすこと

広い意味において、英語を学ぶ目的は、国際化社会の進展に対応して、英語および英語を話す国々の文化や慣習を学ぶことにより、コミュニケーションの手段として英語を活用でき、その国の文化を理解することができる。そして多くの国々の人々の考え方や文化を知り、楽しくて過ごしやすい平和な世界を作り上げていくためと言えるでしょう。

そのため、英語学習において、コミュニケーションの重要性が高まっています。端的に言えば「使える英語」の習得ということです。この「使える」ということは、英語で自分の考えや意見などを正しく相手に伝えることができる、相手の考えや意見などを正しく受け取って、英語で理解することができるという意味です。中学校では、その基礎を学びます。

☆学習の取り組み方

《確かな学力をつけるために》

まずは学習者である皆さんが英語に対して楽しさを感じられることが大切です。間違えることは誰にでもあります。その壁を乗り越えていきましょう。その上で、毎日の授業を大切にしたいと思っています。授業での学習に集中して取り組み、授業で学習したことを実際に使って、英語でコミュニケーションがとれるようになったら素晴らしいと思います。

今まで英語を学習してきて英語と日本語の語順の違いに気づいたと思います。例えば、日本語では主語+目的語+述語動詞という語順ですが、英語では主語+(述語)動詞+目的語の語順です。このような違いを常に意識することで、正しい英文を作ることができるようになり、また、正しく話せるようになります。

また、英語には「聞く」「読む」「話す」「書く」等、多くの技能の習得が求められます。いろんな技能のバランスのよい習得を目指してほしいと思います。そうして習得した基礎的な知識・技能を駆使し、思考力・判断力を鍛え、理解し表現する力を高めていってほしいと思います。

◇予習・復習について

＊予習 単語調べと本文をノートへ書き写しましょう。

＊復習 習った文法をしっかりおさえよう（わからないところは、早めに質問しよう）。単語練習をしよう。

◇自主学習の取り組みについて

自分にあった自主学習のしかたは、授業に主体的に参加する中から、自分の英語力を高める学習方法を見つけ、身につけるのが最も望ましいのですが、何をやっていいかわからないという人のために、教科書の音読をおすすめします。教科書の本文の1ページを実際に声に出して読んでみましょう。そして、音読した本文をノートに書いてみよう。このことで記憶が定着し、本文をノートに書く目的意識が生まれ、学習に向かう姿勢が確立されると思います。さらに、英語で日記を書くなど、自分で文をつくることにもチャレンジしてみよう。

※例えば、家庭での自主学習として以下のことをしてみよう。（所要時間 約15分）

1. 音読 教科書の英文を2回以上声に出して読む。（約3分間）
2. 転写 教科書の英文を2回以上ノートや自主学ノートに書き写す。（約10分間）
3. 黙読 写した英語を声を出さずに読んで確認する。（約2分間）

☆学習上の注意

- ・ 授業はチャイムが鳴るまでに着席し、机上に教科書など準備物を用意しておこう。
- ・ 忘れ物をしたときは、授業が始まるまでに教科の先生に申し出るようにしよう。
- ・ ワークやロイロノート、ふりかえりシートなどの提出物は期限をきちんと守って必ず提出しよう。

使用する教材	教科書	NEW HORIZON English Course 2	準備物	・教科書
	副教材	英語マスターノート2 新英語のワーク2 基本文マスター32		・英語マスターノート2 ・新英語のワーク2 ・基本文マスター 32 ・ファイル A4×2 冊

☆評価について

評価の観点	内容	評価の方法
知識・技能	英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題についての文章等の内容を捉える技能や、自分の気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。	ペーパーテスト 小テスト
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について考えたり、判断したり、自己表現する。	ペーパーテスト パフォーマンステスト ペア・グループワーク
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・話し手に配慮しながら、主体的に英語を学ぼうとしている。	パフォーマンステスト ペアワーク、授業に取り組もうとする姿勢、提出物

☆授業の計画

学期	月	主な学習内容と学習目標
前期	4	Unit 0 My Spring Vacation Unit 1 What can we experience on a trip? ・未来の予定や意思を表す表現 (be going to ～やwillを含んだ表現) がわかり、使える ・SV00、SV0Cの構文がわかり使える。 Unit Activity 留学生に休日のプランを提案しよう Real Life English 機内放送 Grammar for communication 1
	5	Unit 2 What is local food? ・接続詞のwhenやif, that, becauseを使って比較的長い内容を表現でき、意味が理解できる。 Unit Activity イチオシのご当地グルメを紹介しよう Real Life English 旅行先で Grammar for communication 2
	6	Unit 3 What kind of job are you interested in? ・不定詞の名詞的用法、副詞的用法、形容詞的用法がわかり、使える ・仮主語のitを使ったIt is ～ to 不定詞の構文がわかり、使える。 Unit Activity 10年後の自分へのメッセージを書こう
	7	Real Life English 仕事についてのインタビュー Learning technology in English Grammar for communication 3
	9	Stage Activity 1 My Favorite Japanese Food Let's Read 1 History of Clocks Unit 4 What is important in a homestay? ・have to, mustを使って、しなければいけないこと、してはいけないこと、する必要のないことを区別して表現できる。 ・動名詞の表す意味がわかり、文中で主語・目的語として使うことができる。
	10	

学期	月	主な学習内容と学習目標
後期	10	Unit Activity 日本の習慣やマナー Real Life English ホームステイのお礼状 Grammar for communication 3
	11	Unit 5 What design is good for everyone? ・how to～を用いた文の用法がわかり、使える。 ・主語+be 動詞+形容詞+thatの構文が表す意味がわかり使える。 Unit Activity 取り入れたいユニバーサルデザイン Real Life English アナウンス
	12	Learning Social Studies in English Unit 6 How can we make a good presentation? ・比較級、最上級を使って、あるものとあるものとを比較する表現ができる。 Unit Activity アンケート調査の結果 Real Life English 電車の乗りかえ Grammar for communication 5
	1	Stage Activity 2 My School and School Life Let's Read 2 A Glass of Milk Unit 7 What are World Heritage sites and their problems? ・受動態の表現を使い、能動態の表現とは逆の立場からの表現ができる。 Unit Activity 日本の世界遺産 Real Life English 買い物 Grammar for communication 6
	3	Stage Activity 2 Let's have a Discussion Let's Read 3 Pictures and Our beautiful Planet

CAN-DO リストとは、学習の到達目標を「～することができる」という形で指標化し、英語を使って具体的に何ができるようになったのか、明確化するためのものです。文部科学省の有識者検討会が 2011（平成 23）年に提唱し、中学校や高校で具体的な指標を設定するよう求めています。たとえば、中学校卒業までに「聞いたり読んだりしたことなどについてほかの人と話し合い、理解したことを確認したり、意見の交換をしたりすることができる」（話すこと）、「自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりや全体としてのまとまりに注意してある程度の長さの文章を書くことができる」（書くこと）といったような形式のものです。本校では、学年ごとにより具体化した指標を作成し、勢和中学校英語科 CAN-DO リストとして設定しました。

勢和中学校英語科 Can-Do リスト

1 年生		
夏休みまで	冬休みまで	学年末
・簡単な英語を用いて 3 文以上で自己紹介の原稿を書くことができる。（書くこと） ・また、他人の書いた原稿を読んで内容を理解でき、それに関する感想やアドバイスを日本語で書くことができる。（読むこと） ・さらに、他人のコメントやアドバイスを元に、自分の原稿を改善し、自己紹介のスピーチを行うことができる。（話すこと production） ・他人の自己紹介のスピーチを聞き、その内容を理解できる。また、聞き取った内容についての質問を英文で書くことができる。（聞くこと、書くこと）	・簡単な英語を用いて 5 文以上で任意の他人の紹介の原稿を書くことができる。（書くこと） ・また、他人の書いた原稿を読んで内容を理解でき、それに関する感想やアドバイスを日本語で書くことができる。（読むこと） ・さらに、他人のコメントやアドバイスを元に、自分の原稿を改善し、他人の紹介のスピーチを行うことができる。（話すこと production） ・他人のスピーチを聞き、その内容を理解できる。また、聞き取った内容についての質問を英文で書くことができる。（聞くこと、書くこと）	・簡単な英語を用いて 5 文以上で 1 年間の思い出についての原稿を書くことができる。（書くこと） ・また、他人の書いた原稿を読んで内容を理解でき、それに関する感想やアドバイスを日本語で書くことができる。（読むこと） ・さらに、他人のコメントやアドバイスを元に、自分の原稿を改善し、スピーチを行うことができる。（話すこと production） ・他人のスピーチを聞き、その内容を理解できる。また、聞き取った内容についての質問を英文で書くことができる。（聞くこと、書くこと）
2 年生		
夏休みまで	冬休みまで	学年末
・簡単な英語を用い、Topic sentence, Supporting sentences, Concluding sentence の段落構造を意識して 5 文以上で職業体験の思い出についての原稿を書くことができる。（書くこと） ・また、他人の書いた原稿を読んで内容を理解でき、それに関する感想やアドバイスを日本語で書くことができる。（読むこと） ・さらに、他人のコメントやアドバイスを元に、自分の原稿を改善し、職業体験の思い出についてスピーチを行うことができる。（話すこと production） ・他人のスピーチを聞き、その内容を理解できる。また、聞き取った内容についての質問を英文で書くことができる。（聞くこと、書くこと）	・簡単な英語を用い、Topic sentence, Supporting sentences, Concluding sentence の段落構造を意識して 5 文以上で自分の町を紹介する原稿を書くことができる。（書くこと） ・また、他人の書いた原稿を読んで内容を理解でき、それに関する感想やアドバイスを日本語で書くことができる。（読むこと） ・さらに、他人のコメントやアドバイスを元に、自分の原稿を改善し、原稿を見ずに自分の町を紹介するプレゼンテーションを行うことができる。（話すこと production） ・他人のプレゼンテーションを聞き、その内容を理解できる。また、必要に応じて内容について英語で質問することができる。（聞くこと、話すこと interaction）	・簡単な英語を用い、Topic sentence, Supporting sentences, Concluding sentence の段落構造を意識して 5 文以上で将来の夢についての原稿を書くことができる。（書くこと） ・また、他人の書いた原稿を読んで内容を理解でき、それに関する感想やアドバイスを日本語で書くことができる。（読むこと） ・さらに、他人のコメントやアドバイスを元に、自分の原稿を改善し、原稿を見ずに自分の将来の夢についてスピーチを行うことができる。（話すこと production） ・他人のスピーチを聞き、その内容を理解できる。また、必要に応じて内容について英語で質問することができる。（聞くこと、話すこと interaction）
3 年生		
夏休みまで	冬休みまで	随時
・簡単な英語を用い、外国人生徒に対するインタビュー台本を書くことができる。（書くこと） ・自分の書いたインタビュー台本をもとに、国際交流事業で、外国人生徒に対してインタビューできる。（話すこと production, interaction） ・外国人生徒とのインタビューで、相手の応答を聞いて理解し、即興的に応答しインタビューを続けていくことができる。また、必要に応じて外国人生徒に質問することができる。（聞くこと、話すこと interaction） ・国際交流事業で、外国人生徒と簡単な英語でメールでやりとりをすることができる。自分の言いたいことをメールに書いて送り、送られてきたメールの内容を理解できる。（読むこと、書くこと）	・簡単な英語を用い、Topic sentence, Supporting sentences, Concluding sentence の段落構造を意識して 5 文以上で日本文化についての紹介原稿を書くことができる。（書くこと） ・また、他人の書いた原稿を読んで内容を理解でき、それに関する感想やアドバイスを日本語で書くことができる。（読むこと） ・さらに、他人のコメントやアドバイスを元に、自分の原稿を改善し、原稿を見ずに ALT にもわかるように日本文化についてスピーチを行うことができる。必要に応じて、ALT からの質問に答えることができる。（話すこと production, interaction） ・他人のスピーチを聞き、その内容を理解できる。また、必要に応じて内容について英語で質問することができる。（聞くこと、話すこと interaction）	・簡単な英語を用い、「給食がよいか、弁当がよいか」等の質問に対する自分の意見とその理由を、Topic sentence, Supporting sentences, Concluding sentence の段落構造を強く意識した 5 文以上の論理的な文章で書くことができる。（書くこと） ・さらに、自分の原稿を見ずに与えられた質問について口頭で他人と意見を述べ合うことができる。（話すこと production, interaction） ・他人の意見を聞き、その内容を理解できる。また、必要に応じて、その内容について英語で質問・反論することができる。（聞くこと、話すこと interaction） ・さらに、自分の意見と他人の意見を文章でまとめ、その内容を理解した上で、意見の異同について英語でコメントを書くことができる。（読むこと、書くこと）（聞くこと、話すこと interaction）